

リスク管理への取り組み

国内外の経済情勢、金融市場など、金融機関を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした状況下で、大阪信用金庫が「この街のホームドクター」として、ご信頼をいただき、地域社会の繁栄に貢献していくためには、適切なリスク管理を通じて、経営の健全性を維持しつつ適正な収益を確保することが重要となっています。

このため、当金庫では、リスク管理態勢の強化を経営課題の一つと位置付け、各種リスクの所在を的確に把握し、それらの適切な管理に努めています。

統括的リスク管理

統括的リスク管理とは、金融機関が直面するリスクに関して、それぞれのリスクカテゴリーごと（信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク等）に評価したリスクを総体的に捉え、金融機関の経営体力を示す自己資本と比較・対照することによって自己管理型のリスク管理を行うことをいいます。

当金庫では、各種業務の遂行に伴い発生するさまざまなリスクを各管理部門が適切に管理するとともに、統括的リスク管理統括部署が組織横断的な調整を行い、経営体力に見合ったリスクコントロールを実施しています。

統括的リスク管理態勢図(2024年4月22日現在)



